

ぶ ぶんげっしょくかんさつ 部分月食観察シート

かんさつ とき
観察した時: 2021年11月19日 時 分 から 時 分

観察した場所:

観察した人の名前:

いろえんぴつやクレヨンで下の「見本」のように月のようすをかいてみましょう。



(かけていくとちゅう)
(時分)



(いちばんかけたとき)
(時分)



(もどるとちゅう)
(時分)

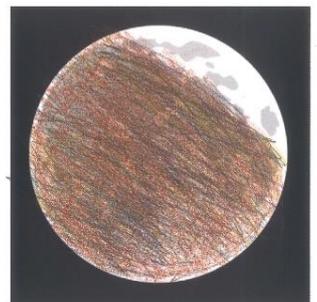
気がついたことをかいておきましょう。

さんこうじょうほう つきしょく はじ お じこく 参考情報 月食の始まりと終わりの時刻

月食の始まり	午後 4時18分
月食の中心(一番欠ける時)	午後 6時 3分
月食の終わり	午後 7時47分

考:日の入時刻 午後4時50分頃

みほん



ごご6時20分ころ

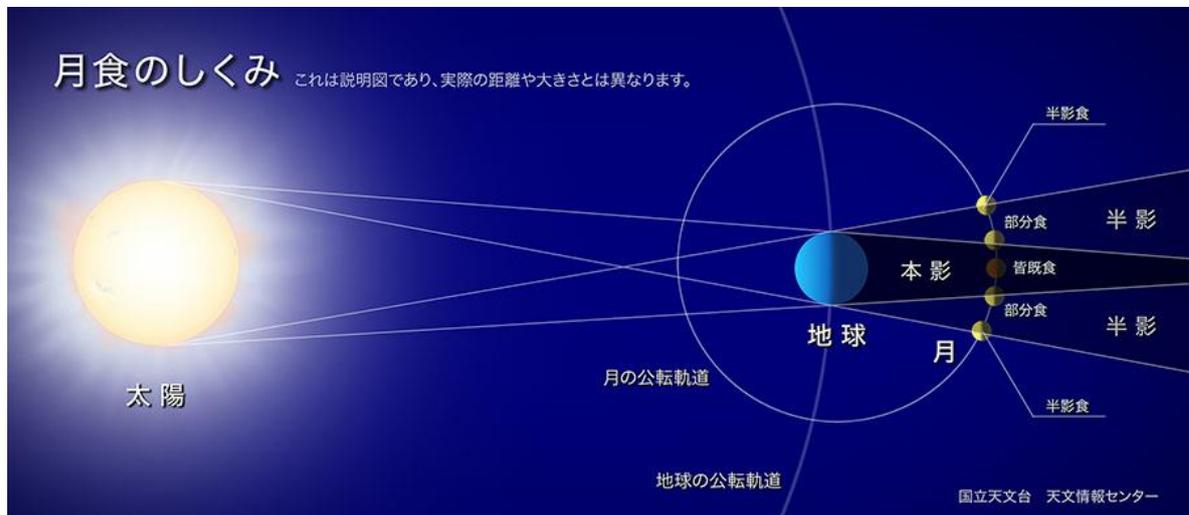
保護者の方へ

月食の概要

今回の月食は、部分月食ではありますが、食分98%とほぼ皆既月食に近いものです。残念ながら前回の皆既月食(今年5月26日)は全国的に天気が悪く、満足に見られたところはほとんどありませんでした。今回は好天に恵まれることが期待できます。今回も、食甚(食が一番深い時刻)が6時3分と、お子様にとっても見やすい時間帯に起こりますので、是非いっしょにご覧になってください。

月食の原理

月は太陽の光を反射して輝いていますが、下の図のように、地球が太陽の光を遮る影の部分に月が入ると月食となります。月がすっぽり影に入ってしまうのが皆既月食です。月食は満月の晩に起こりますが、満月の日に必ず起こるわけではありせん。太陽-地球-月が一直線に並ぶのは数年に1度程度です。つまり月食も数年に1度程度しか起こりません。



観察の方法

観察シートは月食で欠けた月の様子を記録する用紙です。色鉛筆などで欠けた様子を記録してください。欠けた部分の色も記録できるといいでしょう。最も欠けた時の前後は赤黒い(赤銅色とも表現されます)月の様子が肉眼でも見てとれます。

観察は、肉眼でもできますが、オペラグラスや双眼鏡を使うと見やすいでしょう。天体望遠鏡で観察できると表面の模様はどこが何時欠けたか、詳細な記録を取ることができます。次回、東京で見られるの皆既月食は2022年11月8日です。

今回の部分月食の情報



[この観察シートの pdf](#)



[国立天文台の月食情報](#)



ギャラクシティ
G A L A X C I T Y